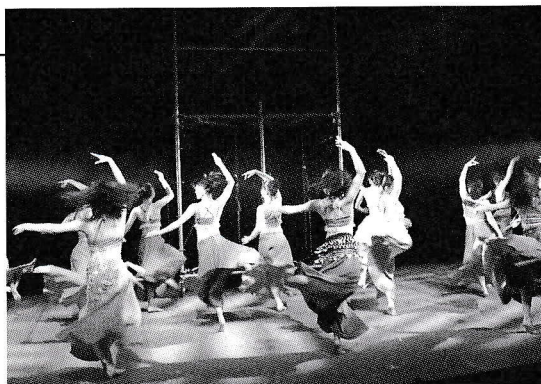


ダンスアレコ青森 Lab'#2と 八東高表現科

文／県立八戸東高校表現科 主任 木村浩哉



長谷川監督を始めとする県美の方々の来校は計十回を越えた。生徒はダンサーと俳優とスタッフの三グループに分かれ、指導を受けた。稽古の最初、生徒二人組で一

稽古は授業時間で行うこととなる。本校非常勤講師でこの作品の振り付け担当の昆先生（昆モダンダンススタジオ代表）の「ダンス」の授業を主に充て、国語科教員にも依頼し「表現基礎」の時間も一部活用させていただいた。

校内調整をし、出演は一年生、稽古開始を夏季休業明けとした。「表現科」は文字通り部活動ではなく、クラス単位である。よって、稽古は授業時間で行うこととなる。本校非常勤講師でこの作品の振り付け担当の昆先生（昆モダンダンススタジオ代表）の「ダンス」の授業を主に充て、国語科教員にも依頼し「表現基礎」の時間も一部活用させていただいた。

設置六年目、全国唯一の学科「表現科」に、県立美術館（以下県美）舞台芸術総監督長谷川孝治氏より、ダンスアレコ青森 Lab. #2



人が目をつむり、もう一人が言葉で誘導し校内を一周した。「相手を信じなければ歩けない、相手とコミュニケーションをとれないければ良い舞台はできない」との監督の言葉が今でも耳に残る。

十一月後半、張りつめるのは路面の水と稽古場の緊張感である。俳優の台本の読み込みもかなり進んできた。自宅で練習してきたのがわかる。辞書を引いて言葉の意味を調べた者もいた。表現は自分との対峙からはじまる。自分と向き合った成果が出てきた。ダンサーには、新体操部員や体操部員の他、バレエの経験者もいる。校内の舞台芸術実習室で鏡張り壁面の前で昆先生や担任で新体操が専門の櫻庭先生から入念なチェックを受ける。スタッフはマイク、アンプの準備から曲の入れ替えまで忙しく動き回っている。しかし、誰も弱音は吐かない。さすが表現科を志望し、入学してきた生徒達だと改めて思った。

稽古の終わりには生徒同士のミーティングがある。「――のセリフは前の方が良かった。」疑問文だから語尾をもっと上げるべきだ。厳しい指摘がお互いでなされる。監督から演出補佐役とされた演劇部員がイニシアチブをとる。普段の世間話の会話ではなく、価値観の違いを話し合う対話が生まれているのがわかる。

Friday Amusement Negative Shop			
3月のFANS (787~790回)			
3月6/13日	19:30	ダンスプロジェクト準備	
3月7/14/21日	14:00	ダンスプロジェクト準備	
3月20日	13:30	ダンスプロジェクト	
		1回目開演 (30分開場)	
3月20日	17:00	ダンスプロジェクト	
		2回目開演 (30分開場)	
3月27日	19:30	だべり場 2009.03	
3月28日	14:00	だべり場 2009.03	

満員、翌二日目は立ち見が出る超満員。何度ものカーテンコールの中で生徒と昆ダンススタジオ所属のダンサーの笑顔ははち切れんばかりである。生徒の想いは観客に届いたようである。相手の心に動きを与えてこそ「表現」であろう。帰り道、降りしきる雪はバス内の熱気を心地よく覚ましてくれた。現代は少子化が進み、パソコンが普及し、コミュニケーションが希薄になりつつある。そのような中で平成二十年一月の中央教育審議会答申には「知識・技能」の活用として、「表現力」とリンクさせる考えが示されている。加えて、不可欠な学習活動として、互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させることの意義が述べられている。

今、八東表現科で行われているような授業やワークショップが、多くの場所で行われる日は、案外遠くないかも知れない。

演劇空間

スペースベン

八戸市柏崎1-11-8
☎ 0178-43-9876
FAX 050-3588-8350
☎ 080-6025-0990

HP <http://spaceben.com/>

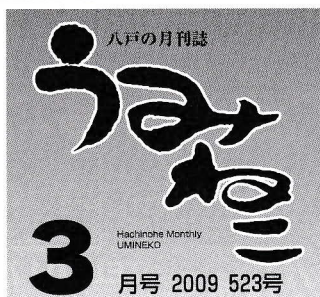
Eメール owner@spaceben.com

※特別番組以外全て午後7時30分～、料金／一般400円 高校生以下100円（当日100円増）
※チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールアドレスで確認下さい。

3月号好評発売中！

●今月のテーマエッセイ「歌」

3つのS……………高橋佳久
私の“うた”な物語……………大久保友賀
うたが好きだから……………小泉亮美
元気の源……………野田愛勝
ひだまりの記憶……………上條芳子
生活習慣病……………法官廣



●今月のインタビュー

フリーアナウンサー

藤田良子さん(44歳)に聞く

読物満載

毎月ご愛読ありがとうございます

発行所／うみねこ出版社

八戸市六日町10 いわとくバルコ3F
TEL・FAX 0178-44-6636